

つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書（令和 7 年度）2025 年度

活動日時	月	日	曜日	開始	終了	場 所	会員参加数
	10	4	土	10 : 00	11 : 15	高倉市民の森	5
活動名称	6号高倉市民の森の今後の取り扱い検討会					報告者：小沼	

＜活動目的＞

6号高倉市民の森は、今までの活動の場であった飯盛川沿いの散策路や広場の土地が売却され、当該場所に入れなくなっている、そのため、広場に隣接している広場北側の市役所所有地の活用方法についてどのようにするか検討するため、樹木医の三澤氏にも出席してもらい、現地を視察しながら今後の検討方向を協議した。

＜主な検討内容＞

○ 森の状況について

- ・従来の広場は、手入れがされていないが、人が入れないほどではなかった。
- ・広場にあったベンチ2脚を市役所所有地へ移動してあるが、老朽化が進んでおり相当の修理が必要である。
- ・飯盛川に架かる橋材が朽ちており危険になりつつある。
- ・ベンチの南側に植樹したキイチゴの苗木は背の高い雑草に覆われ、20本のうち1本しか残っていない。
- ・市役所所有地に移植した樹木はツタ類の雑草に覆いつくされており、周辺も高い雑草に埋め尽くされている。
- ・鶏小屋の横の広場に通じる車道は雑草に覆われており、軽トラを通すにはハンマーナイフが必要である。

○ 市民の森所有者が売却した土地の動向

- ・購入業者より高額の販売物件として売りに出されている。

◎ 今後の方向性

市役所所有地に植樹を実施し、新しい高倉の森に再生できないかと検討していたが、森として利活用するためには、1～2か月に1回程度の下草刈り等の作業が不可欠である。

森周辺の動向も不明の中では当該場所に当クラブの労力を継続して注入していくことは現状では難しさがあると思われる。

以上から、現在、植樹するための助成金は確保しているが、植樹場所を高倉の市有地でなく、太田ヶ谷の森のイチョウ並木の太谷川の北側に実施することが現実的である。（業者に伐採されないような手当てが必要。）

高倉の市有地は最小限のできることを実施するという方向性を確認した。

＜課題・評価＞

高倉の焼却場跡地の整備作業が進んでいるが、焼却場跡地から泥水が大量に飯盛川に流れており、違反行為がなされている。都市計等に改善策を要請する必要がある。（ホテル等に影響が出る。）

＜里山参加会員＞

吉井、小嶋、杉山、橋本、小沼

<活動写真>

